

## <対策のポイント>

国際生物多様性センターへの資金拠出により、アフリカの慢性的な栄養不良を改善するための新たな栄養評価法の開発及び栄養改善指導を支援します。

## <政策目標>

アフリカの食習慣・食文化に適應した栄養評価法を開発し、アフリカで調査・分析した結果を公表  
(2ヶ国における各2農村での調査・分析結果を公表 [平成33年度まで])

## <事業の内容>

## <事業イメージ>

### 新たな栄養評価法の開発及び栄養改善指導

アフリカの農村の慢性的な栄養不良を改善するため、国際生物多様性センターを通じ、地域農作物の栄養成分の分析及び地域の生活習慣や食文化に則した**新たな栄養評価法による食習慣・栄養調査**を行うことにより、**不足栄養素を特定し、不足栄養素を補完するための栄養改善指導等の取組を支援**します。

また、我が国の民間企業と連携し、地域農産物を活用した加工品の開発・販売を行い、農村部の収入改善に貢献します。

## <事業の流れ>



### 期待される効果

- ・農村における不足栄養素の特定、効率的な栄養改善指導の実施の**スキームをマニュアル化**。
- ・当該スキームを**他の栄養不良環境へ展開**。
- ・地域農産物を活用した加工食品の開発・販売による**農村の収入改善、日系企業の参入促進**。

### 事業内容

- ・アフリカの実情に適合した**栄養評価法の開発**。
- ・地域農産物の**栄養成分及び機能性の評価・分析**。
- ・地域農産物を活用した**加工食品の開発・販売**。

### 課題・背景

- ・識字率が低いこと、家族単位の大皿で食事が準備されるため個人のお膳が回収できないこと、年間を通じて食べ物の種類が異なること等のため、**従来の調査法では栄養評価が適切に行えない**。
- ・アフリカは新たな**市場として有望**だが、不足している栄養素など**現場ニーズが不明確**。